

令和7年主要観光地における夏季の観光客入込状況について

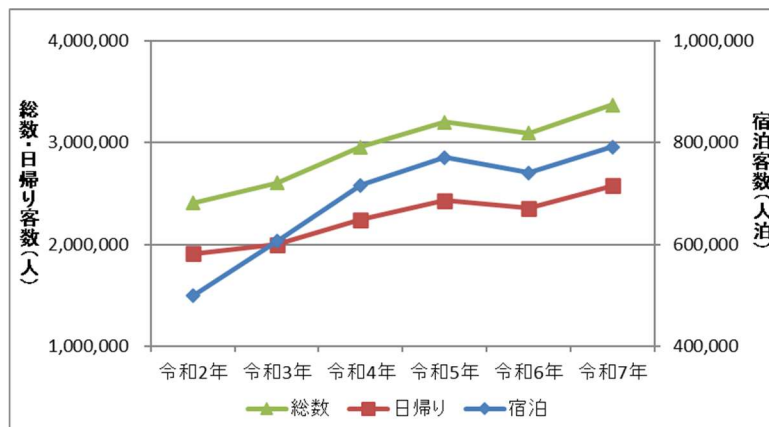
和歌山県では県内を訪れた観光客の動向を把握することを目的に、観光客動態調査を行っています。

この度、令和7年主要観光地における夏季の観光客入込状況を取りまとめましたので以下のとおりお知らせします。

令和7年の県内の主要観光地（7か所）における夏季（7/1～8/31）の宿泊客数は約791,300人泊（前年比約106.8%）、日帰り客数は約2,579,300人（前年比約109.5%）で、総数は約3,370,600人（前年比約108.9%）となった。

（単位：人）

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	対前年増減	対前年比
宿泊	499,400	605,800	716,300	771,300	741,100	791,300	50,200	106.8%
日帰り	1,907,600	1,997,500	2,243,300	2,430,600	2,355,200	2,579,300	224,100	109.5%
総数	2,407,000	2,603,300	2,959,600	3,201,900	3,096,300	3,370,600	274,300	108.9%



特徴

今季は、7月にカムチャツカ半島付近の地震に伴う津波警報発表の影響があったものの、例年より天候が安定していたことや、大阪・関西万博の開催による関西圏の観光需要の高まりなどもあり、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）の発表等の影響があった前年と比較して、宿泊客数及び日帰り客数ともに増加した。

（連絡先）

地域振興部 観光局 観光振興課 企画調整班

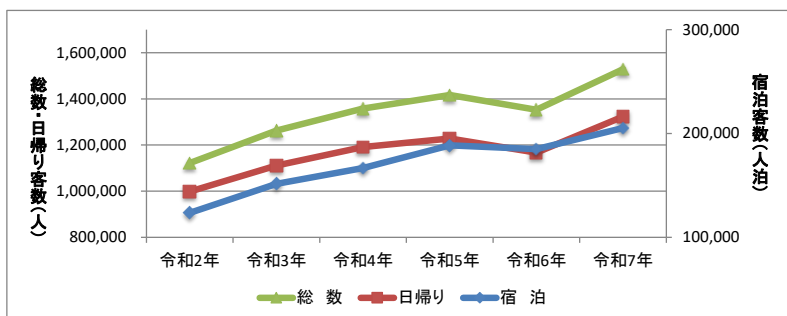
担当：松原、津井田

電話：073-441-2777

内線：2777

主要観光地別特徴

和歌山市

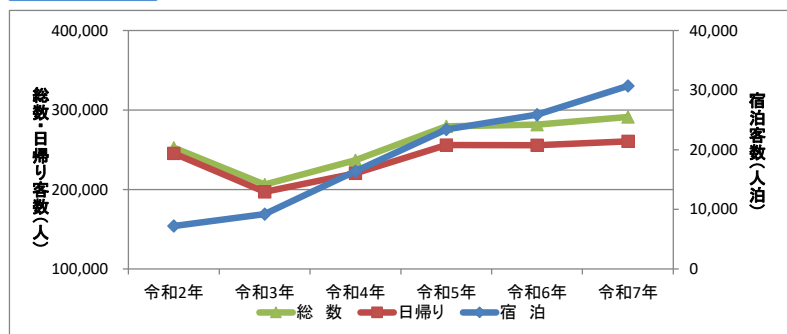


和歌山市では、対前年比で宿泊客数、日帰り客数ともに増加した。
要因としては、大阪・関西万博の開催によるインバウンドをはじめとする宿泊需要の高まりや、花火大会などのイベントが好調であったこと、クルーズ船寄港の増加、片男波海水浴場のアトラクション施設の開業などが挙げられる。

(単位: 人)

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	対前年増減	対前年比
宿泊	123,600	151,500	166,700	188,600	185,000	205,300	20,300	111.0%
日帰り	998,400	1,111,000	1,191,200	1,228,200	1,167,400	1,323,300	155,900	113.4%
総数	1,122,000	1,262,500	1,357,900	1,416,800	1,352,400	1,528,600	176,200	113.0%

高野町

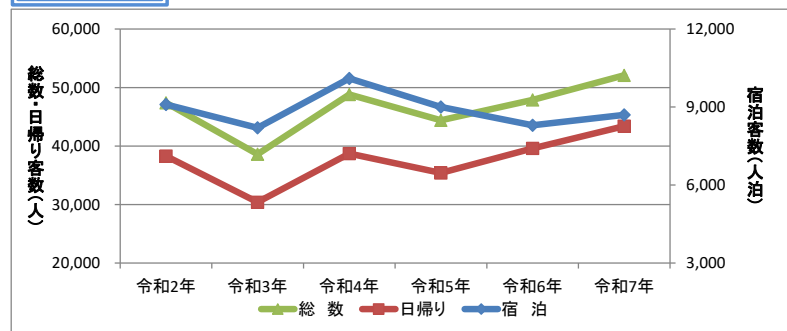


高野町では、対前年比で宿泊客数、日帰り客数ともに増加した。
要因としては、コロナ禍以降、宿坊の労働者不足により稼働部屋数が著しく減少していたのが、滞在型人材マッチングサービス等の活用により一部解消され、稼働部屋数が増加したこと、また、高野山会議2025や高野山ろうそくまつりなど多くのイベントが開催されたことなどが挙げられる。

(単位: 人)

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	対前年増減	対前年比
宿泊	7,200	9,200	16,400	23,400	25,900	30,700	4,800	118.5%
日帰り	245,400	197,000	220,300	256,000	255,700	260,500	4,800	101.9%
総数	252,600	206,200	236,700	279,400	281,600	291,200	9,600	103.4%

田辺市龍神村

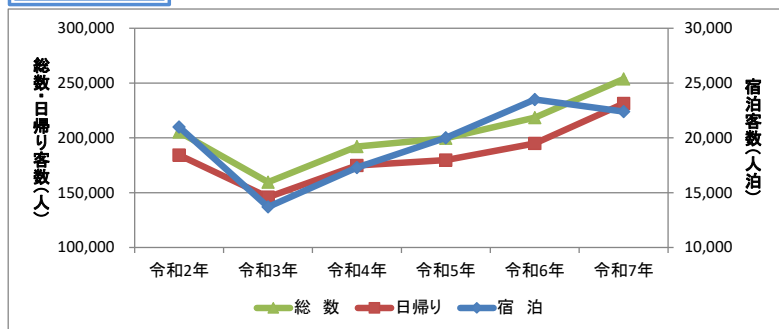


龍神村では、対前年比で宿泊客数、日帰り客数ともに増加した。
要因としては、夏休み期間中における宿泊施設へのファミリー層の増加、日高川での鮎釣り客の増加、猛暑を避け涼を求めてくる旅行者の増加などが挙げられる。

(単位: 人)

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	対前年増減	対前年比
宿泊	9,100	8,200	10,100	9,000	8,300	8,700	400	104.8%
日帰り	38,300	30,400	38,700	35,400	39,600	43,400	3,800	109.6%
総数	47,400	38,600	48,800	44,400	47,900	52,100	4,200	108.8%

田辺市本宮町

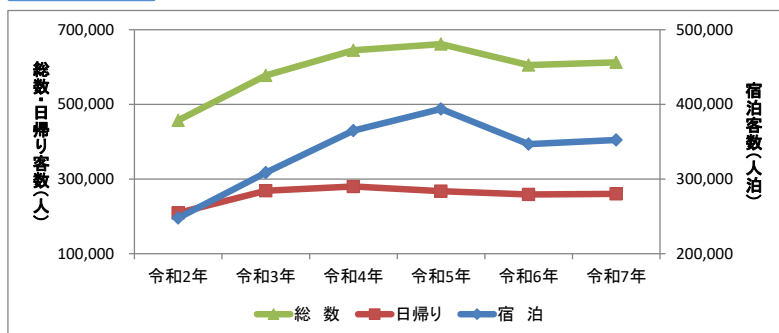


本宮町では、対前年比で宿泊客数は減少したが、日帰り客数は増加した。
要因として、宿泊客数については、例年より梅雨明けが早く、猛暑によるキャンプ場利用客の減少などの影響が挙げられる。日帰り客数については、熊野本宮大社の参拝者数がコロナ禍前の水準を上回り好調であったことやインバウンドの増加が挙げられる。

(単位: 人)

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	対前年増減	対前年比
宿泊	21,000	13,700	17,300	20,000	23,500	22,400	△ 1,100	95.3%
日帰り	184,300	145,900	174,800	179,700	194,900	231,300	36,400	118.7%
総数	205,300	159,600	192,100	199,700	218,400	253,700	35,300	116.2%

旧白浜町

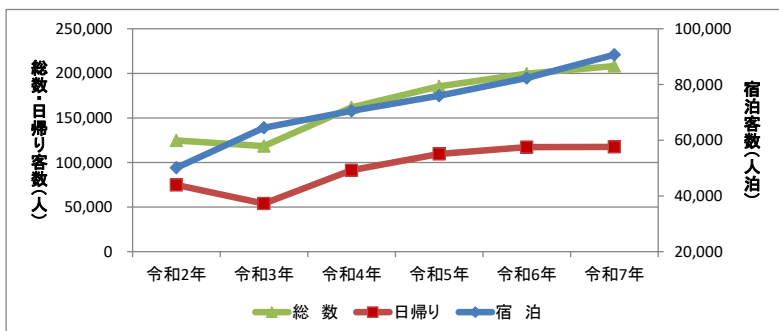


旧白浜町では、対前年比で宿泊客数、日帰り客数ともに増加した。
要因として、ジャイアントパンダが中国に返還された日の翌月となる7月は、宿泊客数、日帰り客数ともに減少したものの、概ね天候が良好であったことや、昨年中止となった南紀白浜花火フェスタを8月に実施できたことなどにより、全体として宿泊客数、日帰り客数ともに増加となった。

(単位: 人)

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	対前年増減	対前年比
宿泊	247,900	308,700	365,000	393,900	346,700	352,400	5,700	101.6%
日帰り	209,300	268,600	280,100	267,600	258,600	260,400	1,800	100.7%
総数	457,200	577,300	645,100	661,500	605,300	612,800	7,500	101.2%

那智勝浦町

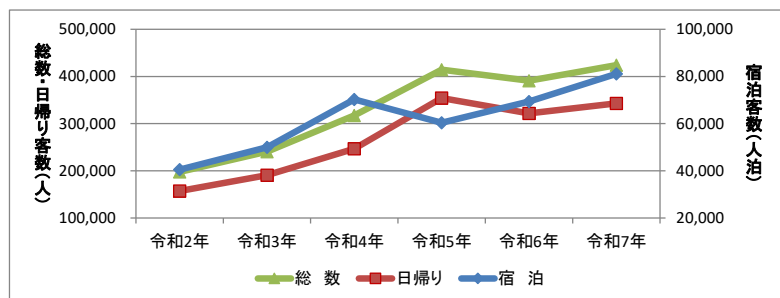


那智勝浦町では、対前年比で宿泊客数、日帰り客数ともに増加した。
要因としては、カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波警報発表の影響により宿泊客のキャンセルがあったものの、インバウンドが好調であったことや、昨年8月は閉鎖していた海水浴場を今年は全日開放したことなどにより、全体として宿泊客数、日帰り客数ともに増加となった。

(単位: 人)

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	対前年増減	対前年比
宿泊	50,100	64,500	70,500	76,000	82,300	90,700	8,400	110.2%
日帰り	74,700	53,900	91,300	109,500	117,300	117,500	200	100.2%
総数	124,800	118,400	161,800	185,500	199,600	208,200	8,600	104.3%

旧串本町



旧串本町では、対前年比で宿泊客数、日帰り客数ともに増加した。

要因としては、7月の最高気温が32度にとどまり、全国的な猛暑の中では比較的過ごしやすい気候であったことや、夏休みや3連休を利用した観光需要が堅調に推移したこと、8月も天候に恵まれ、お盆休みを中心に家族連れや帰省客などが好調であったことが挙げられる。

(単位：人)

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	対前年増減	対前年比
宿泊	40,500	50,000	70,300	60,400	69,400	81,100	11,700	116.9%
日帰り	157,200	190,700	246,900	354,200	321,700	342,900	21,200	106.6%
総数	197,700	240,700	317,200	414,600	391,100	424,000	32,900	108.4%